



株式会社 環境ソリューション

産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物中間処理業

SDGs取組事業者 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ご挨拶

私ども株式会社環境ソリューションは、創業以来廃棄物の適正処理・リサイクルを推進してまいりました。

近年においては環境問題が国際的に取り上げられ、化石燃料の使用が主要因と考えられる二酸化炭素排出量の増大による地球温暖化の悪影響が懸念されています。

弊社では、廃液濃縮設備（濃縮釜）を導入し、焼却施設の廃熱を利用して、二酸化炭素排出量の削減に努めております。

また、省エネルギー活動を推進し、未利用熱エネルギーについても有効利用を図り、一層の環境保全と循環型社会形成の一助となるよう取り組んでまいります。

加えて従前より行っております廃棄物からの有価物回収・再資源化を更に推進し、最終処分場での埋立量を削減することにも努めていく所存です。

これからも良好な生活環境・自然環境を保ち、社会にとって必要不可欠な企業としての自覚と責任を持ち、長期持続的に地域社会へ貢献できるよう取り組んでまいります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 吉里 光広





経営理念



明日への豊かな価値を創造する環境事業カンパニー

基本方針

1. 当社は、健全な企業活動を通じ、お客様、地域社会、従業員をはじめ、すべての人々に満足を提供します。
2. 当社は、よりよい地球環境の実現に努め、よき企業市民として社会の発展に貢献します。
3. 当社は、堅実な経営を行い、適正利益の確保を基として社業の安定を図ります。

行動理念

1. 私たちは、地域社会とのコミュニケーションを図り、環境負担軽減に取り組めます。
2. 私たちは、コンプライアンスを遵守し、社会人として良識ある行動をします。
3. 私たちは、「安全第一」を心がけ、責任をもって仕事を遂行します。
4. 新しい技術にチャレンジし、自己啓発に努めます。
5. 仲間を思いやり、チームワークを大切にします。
6. 無駄を削り、効率を高めます。
7. 整理・整頓・清掃を徹底します。

令和3年6月1日

代表取締役 吉里 光広

概 要



会 社 名 : 株式会社 環境ソリューション
 所 在 地 : 〒904-2142
 沖縄県沖縄市字登川3320番地1
 TEL(098)937-8660
 FAX(098)937-8611
 営業時間 : 8:00~17:00(昼休み12:00~13:00)
 設 立 : 昭和55年7月1日
 資 本 金 : 10,000,000円
 従 業 員 : 58名
 決 算 期 : 3月
 取引銀行 : 沖縄銀行コザ支店・琉球銀行具志川支店
 沖縄海邦銀行赤道支店
 役 員 : 代表取締役／吉里 光広

認証・登録:

- (1) ISO9001 :2015 品質マネジメントシステム取得
- (2) ISO14001 :2015 環境マネジメントシステム取得
- (3) ISO/IEC27001:2022情報セキュリティマネジメントシステム取得



■保有車輛／台 数

収集運搬車	38台	営業車	3台	2026年3月時点
-------	-----	-----	----	-----------

■許可番号

(業)産業廃棄物処分業 : 許可番号第04722010755号
 (業)産業廃棄物収集運搬業 : 許可番号第04712010755号
 (業)特別管理産業廃棄物処分業 : 許可番号第04772010755号
 (業)特別管理産業廃棄物収集運搬業 : 許可番号第04762010755号
 一般廃棄物収集運搬業 : 沖市指令第131号(沖縄市)
 一般廃棄物処分業 : 沖市指令第137号(沖縄市)
 一般廃棄物収集運搬業 : 許可第14号(宜野湾市)
 フロン類破壊業 : 許可2023H0118
 廃油処理事業 : 府運総航第53号
 古物商許可証 : 第971050000503号

■主な取引業種一覧表

官 公 庁	医療機関・福祉機関
教 育 機 関	各 種 工 場
市 町 村	ガソリンスタンド
自動車販売業	空 調 設 備 業
石油事業所	外 食 産 業
食品製造業	印 刷 業
写真現像所	終 末 処 理 業
建 設 業	ク リ ー ニ ン グ 業
リサイクル業	海 上 保 安 庁
電機通信業	自 衛 隊 施 設
一般事業所	米 軍 施 設



1980年(昭和55年)	7月	合資会社中部油ヒ污泥処理施設設立
	9月	産業廃棄物収集運搬業許可 許可番号 第04712010755号
		産業廃棄物処分業許可 許可番号 第04722010755号
	12月	ロータリーキルン焼却施設操業運転
1984年(昭和59年)	11月	熱分解装置(タイムッツ)設置
1988年(昭和63年)	6月	産業廃棄物処理業許可 許可第173号
1993年(平成5年)	9月	産業廃棄物処理施設設置許可 許可番号 第5-3号(乾留式焼却施設)
	11月	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 許可番号 第04762010755号
		特別管理産業廃棄物処分業許可 許可番号 第04772010755号
1996年(平成8年)	2月	産業廃棄物処理施設設置許可 許可番号 第7-4号(乾留式焼却施設)
1998年(平成10年)	10月	産業廃棄物処理施設設置 許可番号 第960050号 (ロータリーキルン付多段炉床炉熱焼方式)
2001年(平成13年)	2月	中和処理施設設置
	8月	廃水処理施設設置
	8月	污泥の脱水施設設置 許可番号 第960076号
	8月	油水分離施設設置 許可番号 第960077号
	11月	天日乾燥装置設置
2002年(平成14年)	6月	破碎施設設置(廃蛍光管破碎)
	10月	フロン類破壊業者許可 許可番号 14H0053(焼却施設1)
	12月	産業廃棄物処理施設設置 許可番号 第960089号(乾留ガス化熱焼方式)
2005年(平成17年)	11月	油水分離施設設置(マルチオイルセパレータ)
2006年(平成18年)	1月	ISO9001:2008認証取得
	7月	法人名称を株式会社 環境ソリューションとし、代表者・役員変更
	7月	医療廃棄物適正処理推進プログラム(ADPP)へ参加
2007年(平成19年)	1月	エコアクション21認証取得
2008年(平成20年)	8月	廃油処理業 許可番号 府運総航第252号
2010年(平成22年)	2月	廃プラスチック類の破碎施設、木くず・がれき類の破碎施設装置 許可番号 第20080169号
2011年(平成23年)	3月	焼却施設設置 許可番号 第21090176号(向流型ロータリーキルン方式)
	5月	トランスヒートコンテナによる熱供給事業開始
2014年(平成26年)	12月	廃熱利用蒸気駆動エアコンプレッサー設置導入
2015年(平成27年)	3月	破碎機建屋完成
2017年(平成29年)	8月	代表取締役 南 秀樹就任(8.1付)
2018年(平成30年)	4月	フロン類破壊業者許可 許可29H0118(焼却施設2)
	12月	第13号廃棄物(廃肉骨粉に限る)
2021年(令和3年)	3月	沖縄県SDGsパートナー登録
	5月	ISO14001:2015環境マネジメントシステム取得(エコアクション21認証返上)
	6月	代表取締役 吉里 光広就任(6.1付)
	11月	ISO/IEC27001:2013情報セキュリティマネジメントシステム取得
2023年(令和5年)	5月	救急ステーション認定
2024年(令和6年)	6月	優良認定取得

産業廃棄物について



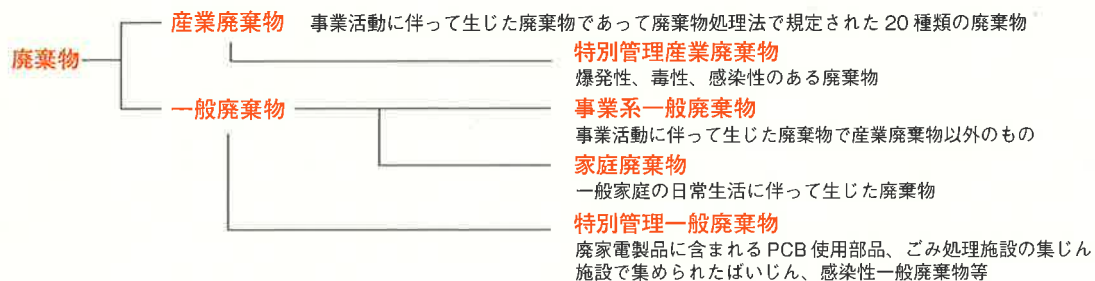
産業廃棄物とは

廃棄物とは、自分で利用しなくなったり、他人に有償で売却できなくなった固形状または液状のもので、**産業廃棄物**と**一般廃棄物**に分類されています。

産業廃棄物はビルの建設工事や工場で製品を生産する等の事業活動に伴って生じた廃棄物で、その種類は廃棄物処理法で燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類などの20種類が指定されています。なお、一般廃棄物は産業廃棄物以外の廃棄物を指します。

また、産業廃棄物と一般廃棄物のうち爆発性や毒性、感染性等の人の健康や生活環境に被害を生ずるおそれのある廃棄物を特別管理産業廃棄物と特別管理一般廃棄物として通常の廃棄物よりも厳しい規制を行っています。

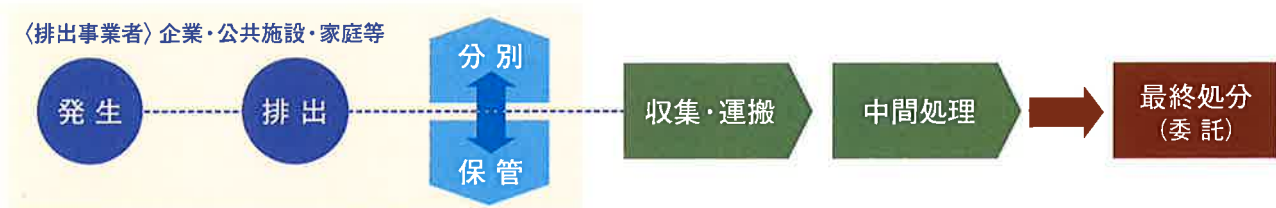
廃棄物の分類



産業廃棄物処理の流れ

企業・公共施設・家庭から排出された産業廃棄物は、適正処理や再資源化の収集をされますが、排出をできるだけ少なくしたり、排出前に、その一部を再度利用する「再利用」の取り組みが行われます。

環境ソリューションは、最終的に処分されるまでの「収集」、「運搬」、「再生」、「中間処理」および「最終処分」までの一連の流れを行っています。



※環境ソリューション産業廃棄物「収集」・「運搬」・「処理」・「処分」までの概念図／詳細は7ページにて記載



産業廃棄物の種類



産業廃棄物の種類

種 類	該当する廃棄物
燃え殻	石炭がら、焼却炉の残灰、炉清掃排出物、その他焼却残さ
汚 泥	排水処理後および各種製造業生産工程で排出された泥状のもの、活性汚泥法による余剰汚泥、ビルビット汚泥、カーバイトかす、ベントナイト汚泥、洗車場汚泥、建設汚泥等
あ ら ゆ る 事 業 活 動 に 伴 う も の	鉱物性油、動植物性油、潤滑油、絶縁油、洗浄油、切削油、溶剤、タールピッチ等
廃 油	
廃 酸	写真定着廃液、廃硫酸、廃塩酸、各種の有機廃酸類等すべての酸性廃液
廃アルカリ	写真現像廃液、廃ソーダ液、金属せっけん廃液等すべてのアルカリ性廃液
廃プラスチック類	合成樹脂くず、合成繊維くず、合成ゴムくず（廃タイヤを含む）等固形状・液状のすべての合成高分子系化合物
ゴムくず	生ゴム、天然ゴムくず
金属くず	鉄鋼または非鉄金属の破片、研磨くず、切削くず等
ガラスくず、 コンクリートくず および陶磁器くず	ガラス類（板ガラス等）、製品の製造過程等で生ずるコンクリートくず、インターロッキングブロックくず、レンガくず、 廃石膏ボード、セメントくず、モルタルくず、スレートくず、陶磁器くず等
鉱さい	鋳物廃砂、電炉等溶解炉かす、ボタ、不良石炭、粉炭かす等
がれき類	工作物の新築、改築または除去により生じたコンクリート破片、アスファルト破片その他これらに類する不要物
ばいじん	大気汚染防止法に定めるばい煙発生施設、ダイオキシン類対策特別措置法に定める特定施設または産業廃棄物 焼却施設において発生するばいじんであって集じん施設によって集められたもの
特定の 事業活動に 伴うもの	紙くず
	建設業に係るもの（工作物の新築、改築または除去により生じたもの）、パルプ製造業、製紙業、紙加工品製造業、 新聞業、出版業、製本業、印刷物加工業から生ずる紙くず
	木くず
	建設業に係るもの（範囲は紙くずと同じ）、木材・木製品製造業（家具の製造業を含む）、パルプ製造業、輸入木材 の卸売業および物品賃貸業から生ずる木材片、おがくず、バーク類等 貨物の流通のために使用したパレット等
	繊維くず
	建設業に係るもの（範囲は紙くずと同じ）、衣服その他繊維製品製造業以外の繊維工業から生ずる木綿くず、羊毛 くず等の天然繊維くず
	動植物性残さ
	食料品、医薬品、香料製造業から生ずるあめかす、のりかす、醸造かす、発酵かす、魚および獣のあら等の固形状の不要物
	動物系固形不要物
	と畜場において処分した獣畜、食鳥処理場において処理した食鳥に係る固形状の不要物
	動物のふん尿
	畜産農業から排出される牛、馬、豚、めん羊、にわとり等のふん尿
	動物の死体
	畜産農業から排出される牛、馬、豚、めん羊、にわとり等の死体

以上の産業廃棄物を処分するために処理したもので、上記の産業廃棄物に該当しないもの（例：コンクリート固型化物）

特別管理産業廃棄物の種類

種 類	該当する廃棄物
廃 油	揮発油類、灯油類、軽油類の燃えやすい廃油 《該当する事業》紡績、新聞、香料製造、医療品製造、石油精製、電気めっき、洗濯、科学技術研究、その他
廃 酸 廃アルカリ	pH2.0以下の酸性廃液、pH12.5以上のアルカリ性廃液 《該当する事業》カセイソーダ製造、無機顔料製造、無機・有機化学工業製品製造、アセチレン誘導品製造、医薬・試薬・農薬 製造、金属製品製造、石油化学工業製品製造、非鉄金属製造、ガラス・窯業、科学技術研究、その他
感染性 産業廃棄物	感染性病原体が含まれるか、付着しているか又はそれらのおそれのある産業廃棄物（血液の付着した注射針、採血管等） 《該当する事業》病院、診療所、衛生検査所、老人保健施設、その他
廃PCB等	廃PCBおよびPCBを含む廃油
PCB汚染物	PCBが染み込んだ汚泥、PCBが塗布もしくは染み込んだ紙くず、PCBが染み込んだ木くず、もしくは繊維くず、またはPCB が付着もしくは封入された廃プラスチック類や金属くず、PCBが付着した陶磁器くずやがれき類
PCB処理物	廃PCB等またはPCB汚染物を処分するために処理したもの（環境省令で定める基準に適合しないものに限る）
廃石綿等	建築物その他の工作物から除去した飛散性の吹付け石綿、石綿含有保温材、断熱材、耐火被覆材およびその除去工事から 排出されるプラスチックシート等で、石綿が付着しているおそれのあるもの、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設で 生じた石綿で集じん施設で集められたもの等 《該当する事業》石綿建材除去事業等
有害 産業廃棄物	水銀、カドミウム、鉛、有機リン化合物、六価クロム、砒素、シアン、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロ ロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、 1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、1,4-ジオキサン又 はその化合物、ダイオキシン類が基準値を超えて含まれる汚泥、鉱さい、廃油、廃酸、廃アルカリ、燃え殻、ばいじん等 《該当する事業》大気汚染防止法（ばい煙発生施設）、水質汚濁防止法（特定事業場）等に規定する施設・事業場
特定の 有害産業廃棄物	

事業内容

株式会社 環境ソリューションは、昭和55年に設立、創業以来、一貫して廃棄物の収集運搬・処理を行ってきました。取扱っている産業廃棄物は汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ、医療廃棄物・動物性残渣・タイヤ等プラスチック類・木くず等廃棄物全般にわたっており、県内全域からの受け入れを担っていて、公共の処理施設等からの一般廃棄物も受け入れています。

今後も引き続き循環型社会形成の構築を推進する企業として廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用を中心とした事業計画及び社員教育を行っていきます。

〈廃棄物フロー図〉



●破砕機／ M160HD 処理能力: 廃プラ216t/日 木くず297t/日	廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類	破砕機	No.1&No.2 焼却施設へ
●廃蛍光管破砕機 処理能力: 750kg/時	蛍光管	蛍光管破砕機	ドラム缶詰 野村興産(株)へ
●フロン類破壊装置 処理能力: 13kg/時	フロン類		No.2 焼却施設へ
●天日乾燥施設 処理能力: 5.1㎡/日	汚泥	廃水処理施設へ No.1&No.2 焼却施設へ	
●中和処理施設 処理能力: 15㎡/日	廃酸・廃アルカリ	No.1&No.2 焼却施設へ	
●廃水処理施設 処理能力: 100㎡/日	グリストラップ・汚水・鉱物油含有水 液状・泥状食品	処理水・脱水污泥	No.1&No.2 焼却施設へ
●No.2 焼却施設 処理能力: 46.8t/日	医療廃棄物・汚泥・廃油・木くず・プラスチック類・動植物性残渣・紙くず・金属くず 廃タイヤ等、排出者立ち会い焼却物		
●No.1 焼却施設 処理能力: 14.4t/日	医療廃棄物・汚泥・廃油・木くず・プラスチック類・動植物性残渣 紙くず・フロン類破壊処理等		



施設紹介



No.2 焼却炉



No.1 焼却炉



油水分離・加圧浮上



脱水機



廃棄物運搬車両入口



焼却灰

破碎施設



廃蛍光管破碎機



廃水処理施設



産業廃棄物収集・運搬車両、構内清掃車



ゴミ破碎機投入口から、
ベルトコンベア・ゴミ落槽まで

天日乾燥施設



汚泥等の乾燥施設



アルマジロ(構内清掃車両)

環境教育・環境保全活動の推進



急速に発展する開発途上国の環境教育・保全の一助を目指し、JICAアジア研修生の視察、また将来を担う子どもたちに環境に優しい社会実現に関心を持ってもらえるよう、見学・視察を実施しています。視察を通し、地球環境保全活動について広く知っていただけるような体制を整えています。

JICAアジア研修生視察受入れ



子供環境調査隊視察風景



視察受入れ



社会奉仕活動・社員研修会



地域社会への奉仕は当然であり、実践していることで我々の事業も成り立っていると理解しています。これからも地域との協調を図り、助け合いながら社会奉仕活動を積極的に取り組んでいきたいと思っています。

移動献血車での社内献血



手術や交通事故などの輸血に必要な赤血球製剤が県内で不足している。県内の不足傾向は近年も続いており当組合及び関連会社は社会奉仕活動の一環として、移動献血車にて過去数回社内献血を行い多くの職員が献血に協力しました。献血運動は今後も継続して行いたいと考えています。

消火訓練



消火訓練を毎年実施、取扱い方法の確認と火気リスク意識の向上を図っています。

不法投棄パトロール



保健所、市役所、警察署、海上保安庁、沖縄県産業廃棄物協会と共に毎年、不法投棄等県下一斉パトロールに参加しています。管轄地域パトロールの実施。

グループ会社合同一斉クリーンデー実施



毎月第4月曜日に実施。地域貢献のひとつとして広範囲に渡り主要道路を丁寧にくまなく、清掃活動を実施しています。

弊社では社員のスキルアップを図る目的で、業務や法令等、実務に関する講習、そして社員としてのビジネス教育、安全衛生講習等を社内外で積極的に取り組んでいます。



AED講習会の実施



業務・法令等勉強会の実施

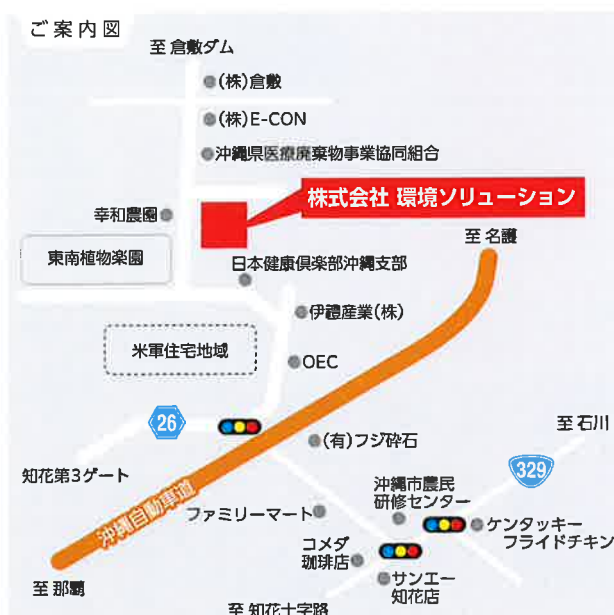
MEMO



SDGs 我が社の取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- ① 日本赤十字社への継続寄付活動(自然災害・飢餓・高齢者・障がい者を支える活動などへの貢献として)
- ② エコアクション21認証登録10年継続表彰を受ける、環境活動として、Co2排出量、水資源使用量、化石燃料使用量の抑制目標、グリーン購入、電力に代わる蒸気駆動コンプレッサー稼働日数を高める。エコドライブの取組など。
- ③ 令和元年、環境省管轄の「Co2削減ポテンシャル診断」を受けた。
- ④ 令和2年、経済産業省管轄「省エネ診断」を受けた。
- ⑤ 高齢者の積極的な雇用の実施。
- ⑥ 社員教育、業務に係る技術教育を外部講師や自社にて取組んでいる。
- ⑦ 産廃業として騒音、振動、悪臭の抑制取組。
- ⑧ その業種だからこそ緑化、植林などで生物生育場所の確保を実行。
- ⑨ 有給休暇その他休み等でワークライフバランス促進及び研修制度、自己啓発の促進、福利厚生充実など働き方改革の構築の為に推進中。その他



産業廃棄物収集運搬・処分業

株式会社 環境ソリューション

(一社)沖縄県産業資源循環協会 会員

〒904-2142

沖縄県沖縄市字登川3320番地1

TEL.098-937-8660

FAX.098-937-8611

URL <http://www.yuhi-soln.jp/>

環境ソリューション

検索

